

スマイリング Smiling

思いをカタチに とともに創る 笑顔の学校



横山っ子ネットワーク協議会（分科会の様子）

子どもたちのため、地域一丸！

各小中学校運営の反省と次年度の構想について意見交換

横山っ子 ネットワーク協議会

今年度、公開発表ということもあり、教職員が目指す方向をそろえて取り組み成果につながった。来年度は、子ども像やめざす子どもの姿など、よりシンプルにし、子どもに伝わりやすく改善していきたい。話しをしっかりと聞くことはできたが、進んで発言や発表することが課題となった。

おりほの学校づくり 協議会

答えを提示するのではなく、子どもに考えさせて自己決定させる場をもつ授業づくりの雰囲気ができあがった。「自ら学校を創る」ことの意識化は、具体的なイメージをもたせられなかった。児童会活動などを通して学校をよくしているのだという気持ちに立たせてあげたい。

こうふく押切っ子 協議会

「自分の考えをはっきりと話し、伝えることができたか」の評価数値が高くなったことは、授業の取り組みの成果である。
協働的な学びを大切にしながら、より「主体的、対話的で、深い学び」をめざし、「学ぶ喜びを実感できる授業」に挑戦していきたい。

三川中学校 学校運営協議会

生徒の思いに寄り添う指導、生徒の成長を支援しようという教職員の思いが、生徒との信頼関係の向上につながっている。生徒は、授業に主体的に取り組んでいるので、さらに、「授業がよくわかる」と実感できるよう努めたい。「なかよし三原則」の決議やいじめ防止の4つの詩など生徒主体でよい取り組みがあった。

2月22日(水)に、第4回学校運営協議会が子育て交流施設テオトルで開かれました。各小中学校に分かれた分科会では、今年度の学校運営における反省をもとにした令和5年度の学校運営方針が各学校長より説明があり活発な意見交換が行われました。全体会では、子どものスポーツ・文化活動の素地をどう育てるかのまとめと、中学校休日部活動の地域移行へ向けた今後の推進方法が説明されました。

☆ 学校運営の反省に対する委員の方の声

- 学校が子どもに寄り添い、大切に育ててくれていることに感謝。
- 学校の独自性をいかし、子どもに様々な体験機会を与えてくれている。
- 「魅力ある学校づくり」をめざし頑張ってくれている。

※詳細の議事録は、三川町HP → 「暮らし」 → 「コミュニティ・スクール」に掲載しています。

すすみます！すすめます！休日部活動の地域移行！

基本的な方針

- 「部活動の地域移行」を単に部活動を地域に放り出すのではなく、地域の持続可能で多様なスポーツや文化活動への環境を一体的に整備し、子どもたちに多様な体験機会を確保することと考える。
- めざすことは「学校教育の質の向上」であり、子どもたちの豊かなスポーツや文化活動ライフである。「楽しさ」「喜び」を感じながら、自己実現、社会性や協調性を身につけられるよう安全で安心して活動できる環境を整えるえ支援することと考える。

目標：地域の力が、子どもの夢と可能性を伸ばし、社会性や協調性を育てる

具体的な推進策

令和5年度

- 「休日の部活動地域移行」を推進する組織として、「三川町スポーツ・文化振興協議会」(仮)を設立し事務局を設置する。
- 令和5年度田川地区総体後から、休日の地域移行が可能な部活動から順次試行する。
- 町内のスポーツ団体や文化団体との協議を通し、協力体制づくりや指導者の養成を支援する。
- 休日の活動を広域体制(町外からの受け入れ)ができないか検討する。

令和6～7年度

- 全部活動の地域移行を完了する。
- 三川町スポーツ・文化振興協議会として新たなスポーツ・文化活動育成及び振興計画を提案する。

★「子どもの生活習慣に負担とならない体制」「高い技術指導が展開される体制」をめざします。

※現段階の方向性を載せてありますのでご理解ください。